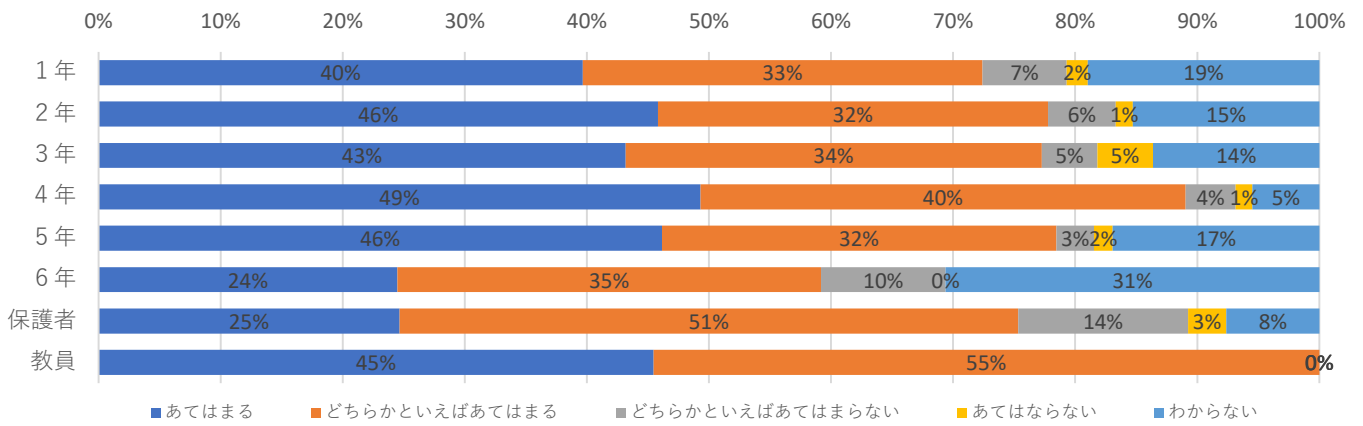
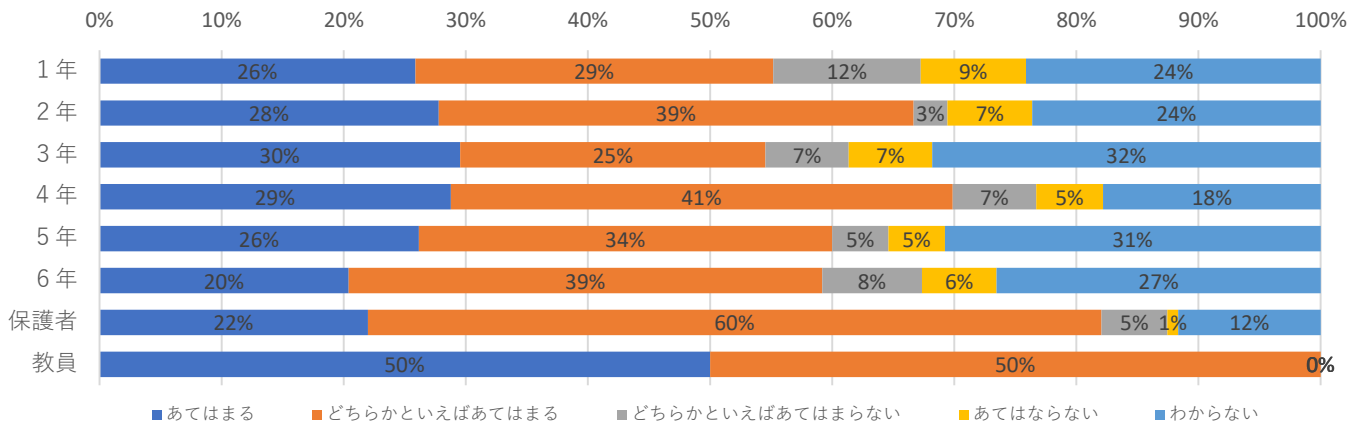


1 あなたには、よいところがあると思う



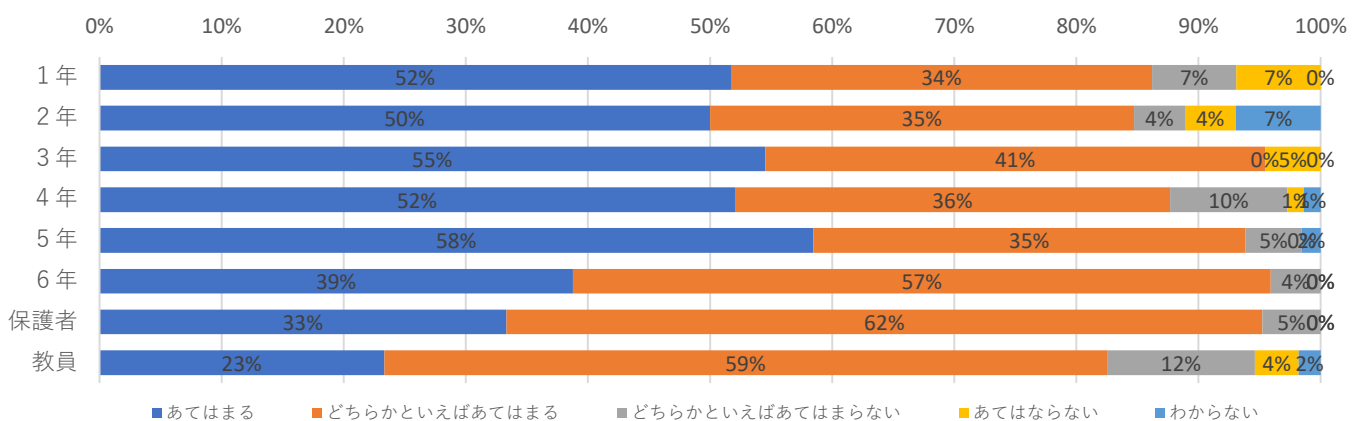
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均75%、保護者76%、教員100%であった。昨年度と比較して児童の肯定的な意見が11%低下し、「わからない」が6%増えるなど、教員の評価と乖離が見られる。今年度の学校での取組を見直し、今後児童が自分のよさを、より実感できる指導・支援のあり方を検討していきたい。

2 あなたは、周りの人たちから、自分のよさを認められていると思う



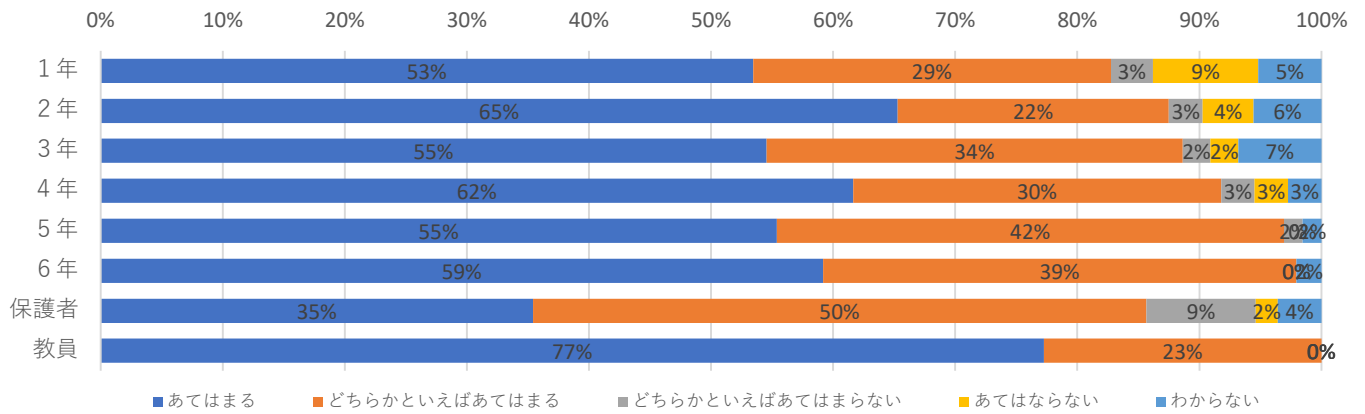
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均60%、保護者82%、教員100%であった。昨年度と比べ、児童が7%低下しており、こちらも教員との意識に乖離がある。教職員が児童のよさを見取り、そのよさを生かして活躍できる機会を設けていくことを推進していきたい。

3 あなたにとって、授業の内容は分かりやすい



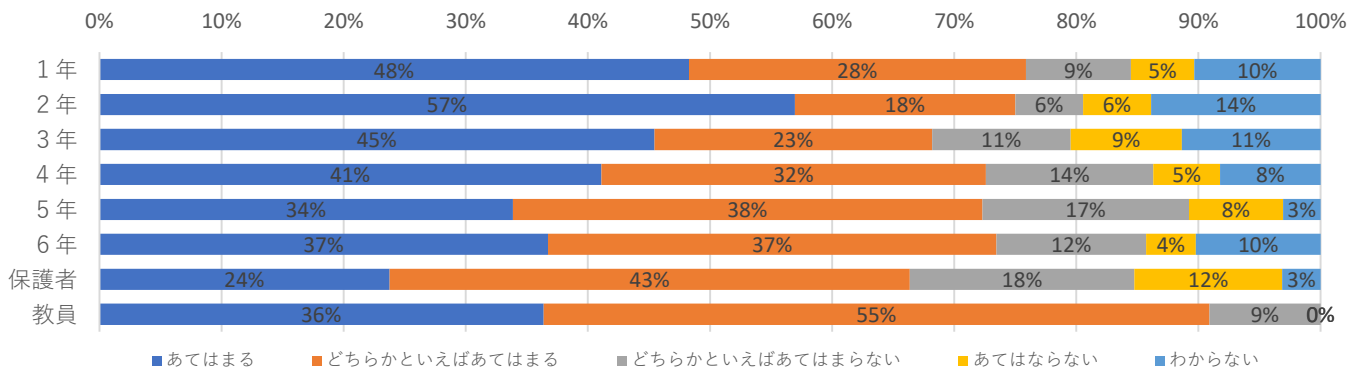
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均91%、保護者95%、教員82%で、昨年度と大きな変化はなく概ね肯定的な回答の割合が高かった。今後も、児童が「分かる」「できる」喜びを実感できるように、児童が主体的に学ぶ授業づくりを心がけていきたい。

4 あなたは、周りの人に「ありがとう」を伝えている



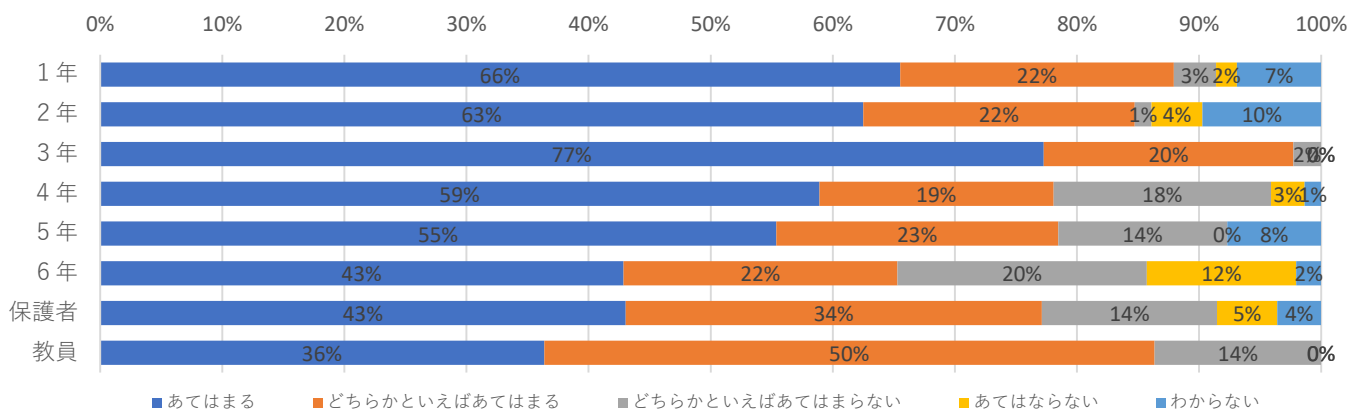
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均91%，保護者85%，教員100%で、昨年度と大きな変化はなく概ね肯定的な回答の割合が高かった。今後も、周囲の人へ感謝の気持ちを持ち、伝え合う活動を推進し、ありがとうがあふれる学校づくりに努めていきたい。

5 あなたは、しょくまるファイブを意識するなどして、食事（給食）をバランスよく食べている。



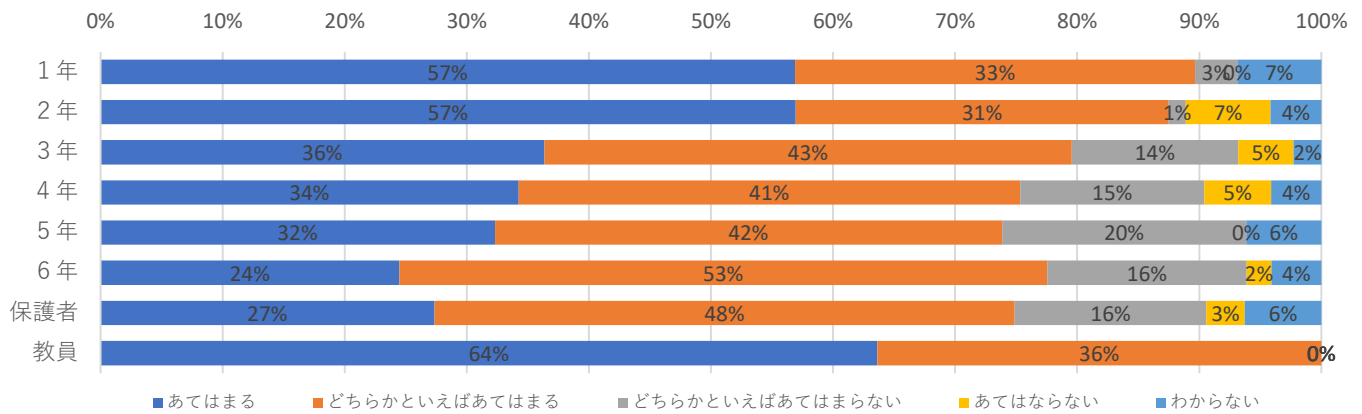
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均73%，保護者67%，教員91%であった。昨年度と比べ、児童と教員の数値に変化はないが、保護者の肯定的な回答が5%増えている。今後も、学校での指導に加え、家庭へ啓発に取り組んでいく。

6 あなたは、体育の授業や長放課に進んで体を動かしている



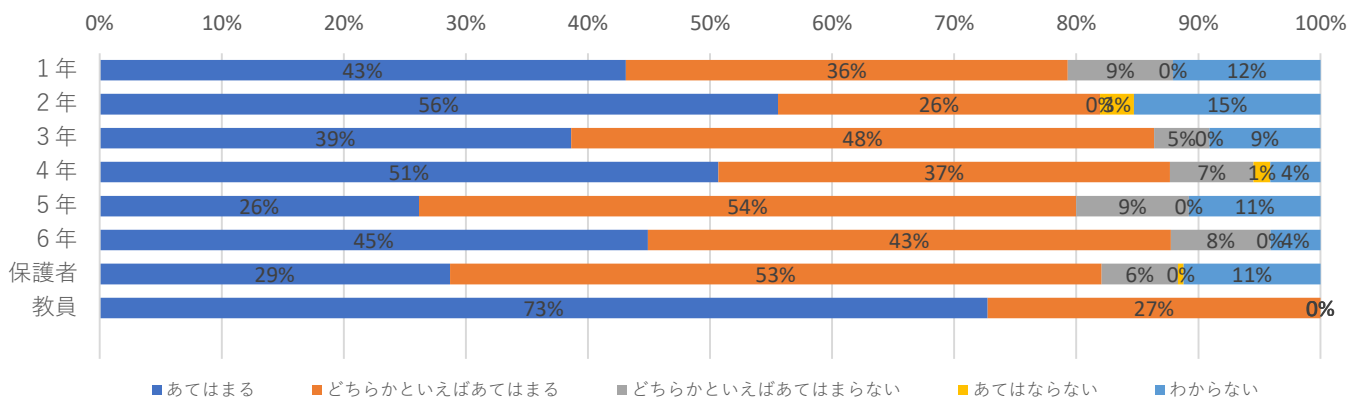
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均82%，保護者77%，教員86%であった。全体の肯定的な回答の割合に大きな変化はないが、児童の「あてはまる」と回答した割合が昨年度と比べ10%増えた。今後も、より多くの児童が体を動かすことを楽しさを味わえる指導を検討・実施していく。

7 あなたは、あいさつにがんばっている。



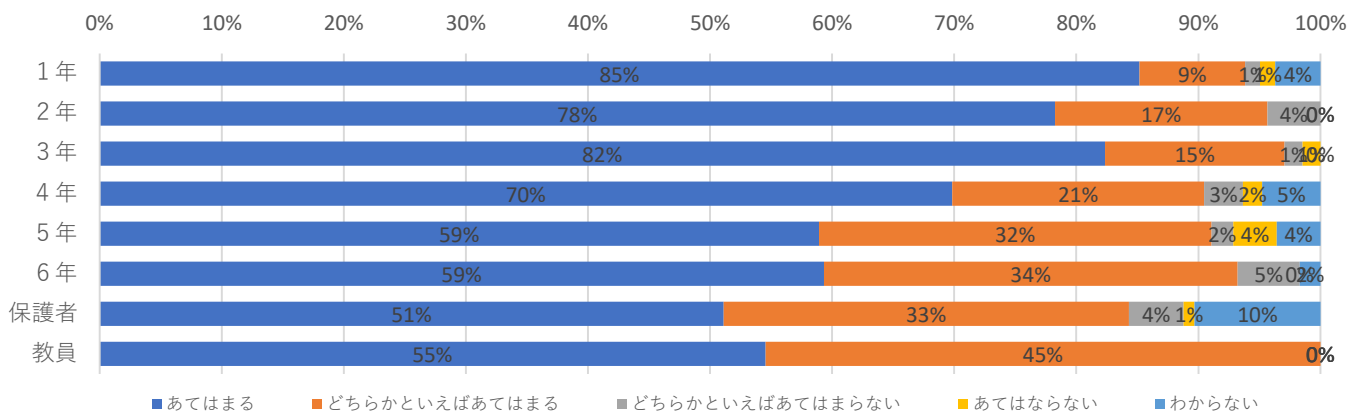
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均80%，保護者75%，教員100%であった。肯定的な回答の割合は昨年度と同じだが、「あてはまる」と回答した児童の割合が減少している。今後もあいさつの意義や価値を考える取組を継続していくとともに、児童が自らの取組に自信がもてるような声かけをしていく必要がある。

8 あなたは、困っている人がいたら、助けている



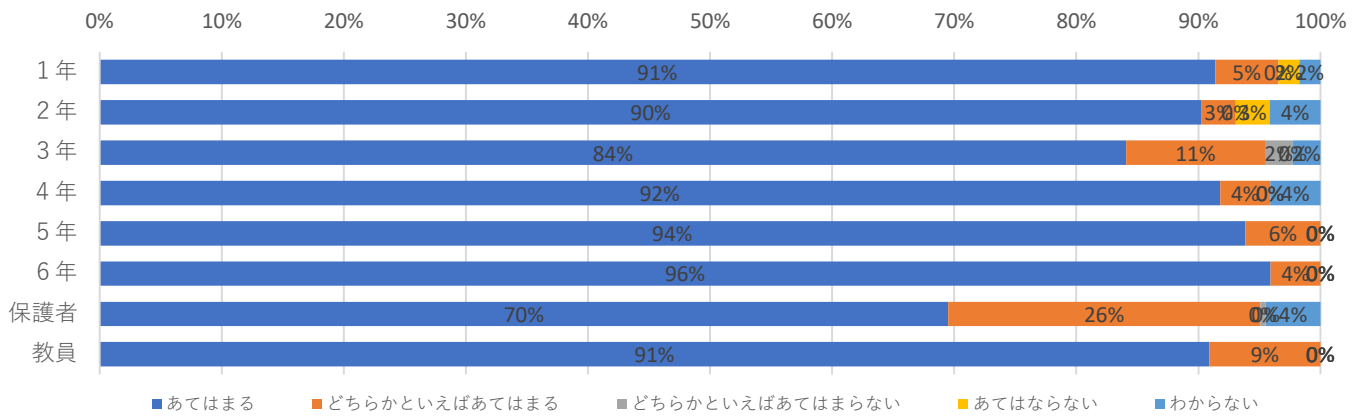
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均84%，保護者82%，教員100%であった。昨年度と大きな変化はなく高い意識を継続している。今後も、困っている友達に寄り添う姿を共有し認め合う場を設けるなど、児童が自らの行動のよさを実感できる指導を心がけていきたい。

9 あなたは、たてわり活動を楽しんでいる



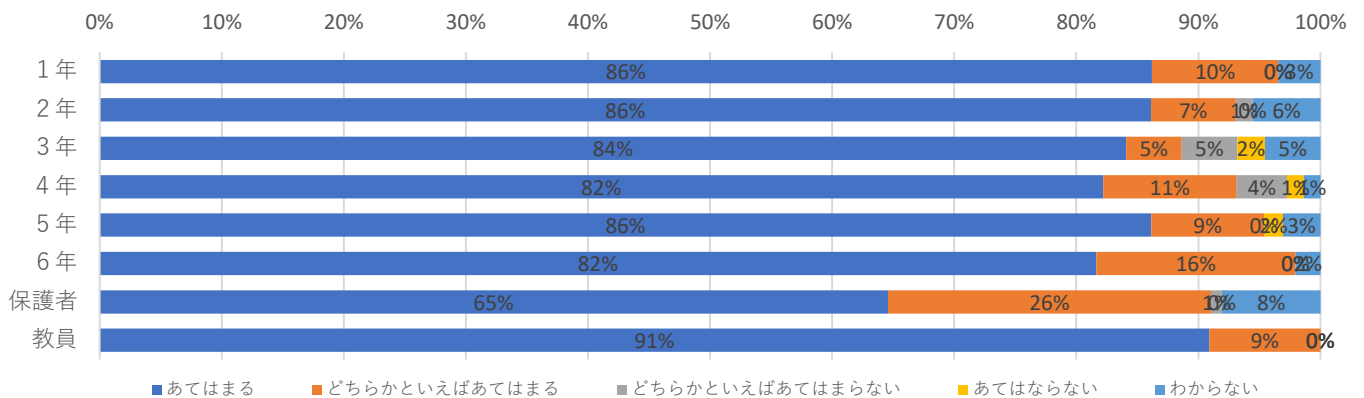
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均93%，保護者84%，教員100%で、昨年度と大きな変化はなく概ね肯定的な回答の割合が高かった。今後も、本校の文化として定着しているたてわり活動の意義を広め、思いやりの心や高学年のリーダー性、地域社会の基盤となる縦のつながりを育てていきたい。

10 あなたは、いじめをしてはいけないと思う



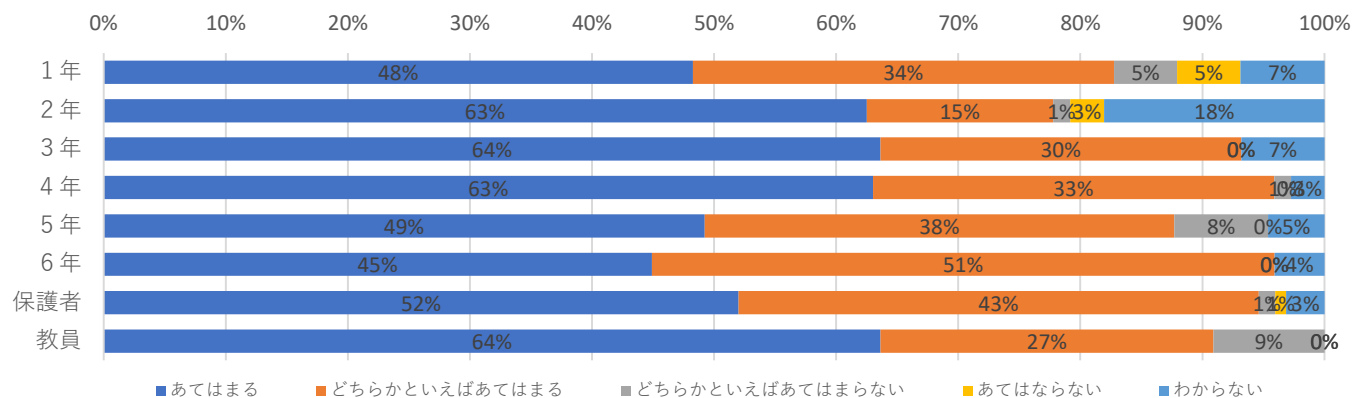
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均 97%，保護者 96%，教員 100%であった。昨年度と大きな変化はなく概ね肯定的な回答の割合が高かった。今後も、全校でいじめを敏感に察知する意識をもち、早期発見・早期対応に全力で努めていく。

11 あなたは、いのちを大切にしていると思う



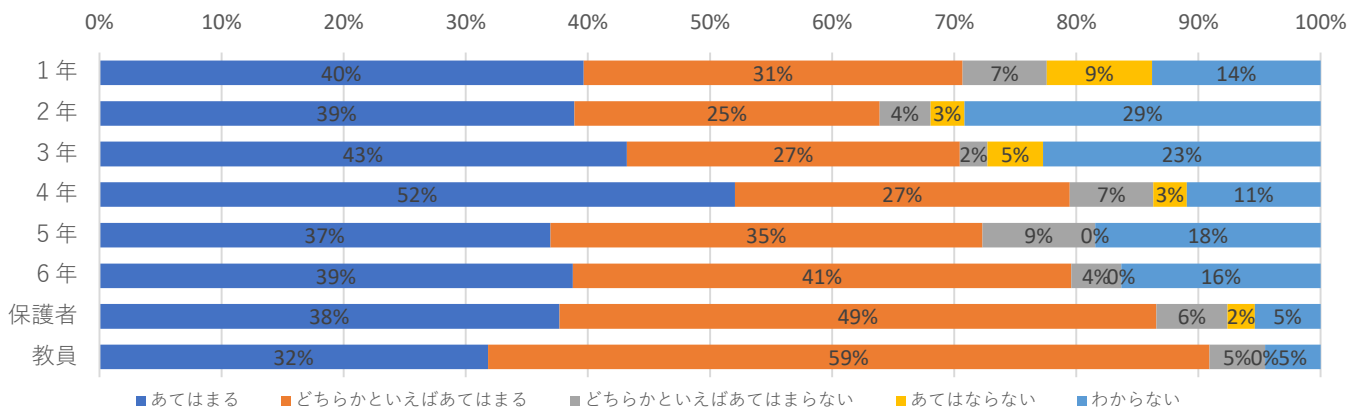
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均 94%，保護者 91%，教員 100%であった。昨年度に引き続き、肯定的な回答の割合が高い。今後も児童が命の大切を実感できるよう、栽培や飼育活動、道徳の授業等、具体的な事例を用いた指導を推進していきたい。

12 学校の施設・設備は、きれいに整備されていると思う。



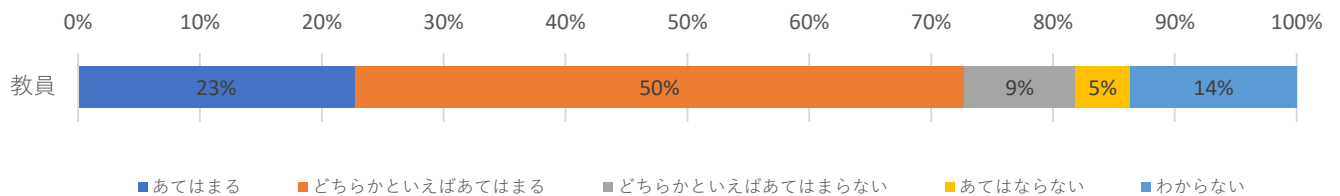
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均 87%，保護者 95%，教員 91%であった。今後も、児童が安全に活動できることはもちろん、豊かな心を育む潤いのある環境作りに努めていきたい。

1 3 便りやホームページなど、学校のことがよく分かると思う



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、児童平均 73%，保護者 87%，教員 91%であった。児童の回答に「わからない」の割合が多い。児童には質問の趣旨を説明し、児童にとって身近な校内掲示等の具体例を示す必要がある。

1 4 ゆとりをもって子どもたちと向き合っている



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えたのは、73%であった。児童のゆたかな成長を支えていくことに重点を置き、保護者や地域の理解を得ながら、行事や会議の精選等働き方改革を推進していく必要がある。